

1 級 ①

商 業 簿 記

問 1

(単位：千円)

ア	○ 10,188	イ	○ 17,200	ウ	○ 16,486
エ	○ 11,480	オ	○ 27,363		

予想配点 ○ 1 つにつき 1 点×5個=5点

問 2

(単位：千円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額	
1	繰 越 商 品	252	繰 越 利 益 剰 余 金	252	}
	仕 入	10,440	繰 越 商 品	10,440	
	繰 越 商 品	11,440	仕 入	11,440	}
	棚 卸 減 耗 損	440	繰 越 商 品	690	
	商 品 評 価 損	250			
4	株 式 報 酬 費 用	8,500	新 株 予 約 権	8,500	}

予想配点 ○ 1 つにつき 2 点×3個=6点

問 3

(単位：千円)

売 買 目 的 有 価 証 券	○ 5,300	満 期 保 有 目 的 債 券	○ 995
資 産 除 去 債 務	○ 900	社 債	○ 27,968
繰 延 税 金 資 産	○ 3,126	繰 延 税 金 負 債	○ 380
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	○ 120	リ ー ス 資 産 減 価 償 却 費	○ 5,496
建 物 減 価 償 却 費	○ 14,400	備 品 (備品A ₂ グループを除く)	※ ○ 7,849
備 品 C の 減 価 償 却 費	○ ※1,625	減 損 損 失	○ 7,190
関 連 会 社 株 式 評 価 損	○ 900	法 人 税 等 調 整 額	○ 2,826

※別解 備品Cの減価償却費1,624千円、備品(備品A₂グループを除く)7,850千円

予想配点 ○ 1 つにつき 1 点×14個=14点

1 級 ②

会 計 学

第 1 問

ア	イ	ウ
為替換算調整勘定	共通支配下	未認識過去勤務費用
エ	オ	
資本連結	後発事象	

予想配点 各 1 点 × 5 個 = 5 点

第 2 問

(単位：千円)

設問 1	設問 2	設問 3
41, 900	38, 000	35, 700

予想配点 各 2 点 × 3 個 = 6 点

第 2 問

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
営 業 収 入	(○ 862, 800)
商 品 の 仕 入 に よ る 支 出	(○ △ 561, 000)
人 件 費 の (支 出)	(○ △ 125, 000)
そ の 他 の (営 業 支 出)	(○ △ 75, 300)
小 計	(101, 500)
(利息及び配当金の)受取額	(○ 2, 300)
利 息 の (支 払 額)	(○ △ 2, 200)
法 人 税 等 の (支 払 額)	(○ △ 25, 800)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(75, 800)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の(取得による支出)	(○ △ 13, 000)
(有形固定資産の取得による支出)	(○ △ 6, 000)
投資活動によるキャッシュ・フロー	(△ 19, 000)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
(短期借入れによる)収入(純額)	(○ 4, 000)
配 当 金 の 支 払 額	(○ △ 34, 500)
非支配株主への配当金支払額	(○ △ 800)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(△ 31, 300)
IV 現金及び現金同等物の増加額	(○ 25, 500)
V 現金及び現金同等物の期首残高	(○ 65, 000)
VI 現金及び現金同等物の期末残高	90, 500

予想配点 ○ 1 つにつき 1 点 × 14 個 = 14 点

1 級 ③

工業簿記

問1 ☆ 180 千円 (借方 ・ 貸方) 差異
(注) () 内は「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

問2 ☆ 50 千円 (借方 ・ 貸方) 差異
(注) () 内は「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

問3

製造原価報告書

(単位：千円)

材 料 費	9,700
労 務 費	8,050
経 費	(◎ 8,300)
計	(26,050)
(○ 製造間接費配賦差異)	(◎ 100)
当 期 総 製 造 費 用	(26,150)
期首仕掛品棚卸高	(◎ 2,260)
合 計	(28,410)
期末仕掛品棚卸高	(1,005)
当期製品製造原価	(◎ 27,405)

問4 ◎ 260 千円/個

問5 ◎ 1,930 千円

問6 ◎ 6,630 千円

問7 ◎ 80 千円

問8 ◎ 2,330 千円

予想配点 ○1つにつき1点×1個=1点
◎1つにつき2点×9個=18点
☆1つにつき3点×2個=6点
合 計 25点

1 級 ④

原 価 計 算

問 1 年間撮影件数 件

問 2

(1) 高性能のCTスキャン購入案の税引後ネット・キャッシュ・インフロー

(単位：千円)

× 7 年度末	× 8 年度末	除却年度末
26,745	14,595	18,645

(2) 高性能のCTスキャン購入案の正味現在価値

千円

予想配点 各 2 点 × 5 個 = 10 点

問 3

①	独立投資案	相互排他的投資案	補完投資案
②	内部利益率法	回収期間法	正味現在価値法
③	内部利益率	回収期間	正味現在価値
④	長い		短い
⑤	現価		終価
⑥		1,324 (万円)	
⑦		4,060 (万円)	
⑧	高性能のCTスキャン購入案	普通の性能のCTスキャン購入案	

予想配点 ①～⑤ ⑦～⑧ 2 点 × 7 個 = 14 点 ⑥ 1 点 × 1 個 = 1 点

商業簿記 解説

1. 棚卸資産

(1) 総平均法による期首商品棚卸高の推定

① X1年度の総平均単価

$$\frac{100\text{個} \times @80\text{千円} + 1,000\text{個} \times @78\text{千円} + 800\text{個} \times @82\text{千円} + 600\text{個} \times @84\text{千円}}{100\text{個} + 1,000\text{個} + 800\text{個} + 600\text{個}} = 80.8\text{千円}$$

② X2年度の総平均単価

$$\frac{150\text{個} \times @80.8\text{千円} + 1,250\text{個} \times @84\text{千円} + 800\text{個} \times @85\text{千円} + 800\text{個} \times @87\text{千円}}{150\text{個} + 1,250\text{個} + 800\text{個} + 800\text{個}} = 84.906\cdots\text{千円}$$

∴ 84.9千円(百円未満四捨五入)

③ X3年度の期首商品棚卸高

$$120\text{個} \times 84.9\text{千円} = 10,188\text{千円} \cdots \text{アの金額}$$

(2) 会計方針の変更

(借方) 繰越商品	252	(貸方) 繰越利益剰余金	252
-----------	-----	--------------	-----

① 先入先出法による期首商品棚卸高

$$120\text{個} \times 87\text{千円} (\text{※}) = 10,440\text{千円}$$

※ 先入先出法によっているためX2年度末の評価は第3回仕入の@87円となる。

② 遡及適用

$$10,440\text{千円} - 10,188\text{千円} = 252\text{千円}$$

(3) 決算整理仕訳

(借方) 仕入	10,440	(貸方) 繰越商品	10,440
(借方) 繰越商品	11,440	(借方) 仕入	11,440
(借方) 棚卸減耗損	440	(借方) 繰越商品	690
(借方) 商品評価損	250		

$$\text{期末商品帳簿棚卸原価} : 130\text{個} \times 88\text{千円} = 11,440$$

$$\text{棚卸減耗損} : (130\text{個} - 125\text{個}) \times 88\text{千円} = 440\text{千円}$$

$$\text{商品評価損} : (88\text{千円} - 86\text{千円}) \times 125\text{個} = 250\text{千円}$$

2. 有価証券

(1) A社株式(売買目的有価証券)

(借方) 売買目的有価証券	3,500	(貸方) 有価証券	3,500
(借方) 売買目的有価証券	700	(貸方) 有価証券評価益	700

(2) B社株式(売買目的有価証券)

(借方) 売買目的有価証券	900	(貸方) 有価証券	900
(借方) 売買目的有価証券	200	(貸方) 有価証券評価益	200

$$\text{帳簿価額} : 9,690\text{千円} - (3,500\text{千円} + 990\text{千円} + 2,800\text{千円} + 1,500\text{千円}) = 900\text{千円}$$

$$\text{期末評価額} : 10\text{千ドル} \times 110\text{円} = 1,100\text{千円}$$

$$\text{評価差額} : 1,100\text{千円} - 900\text{千円} = 200\text{千円}$$

(3) C社国債(満期保有目的債券)

(借方) 満期保有目的債券	990	(貸方) 有価証券	990
(借方) 満期保有目的債券	5	(貸方) 有価証券利息	5

$$\text{償却額} : (1,000\text{千円} - 990\text{千円}) \times \frac{1\text{年}}{5\text{年} - 3\text{年}} = 5\text{千円}$$

(4) D社株式(その他有価証券)

(借方) その他有価証券	2,800	(貸方) 有価証券	2,800
(借方) その他有価証券	200	(貸方) 繰延税金負債	80
		(貸方) その他有価証券評価差額金	120

$$\text{評価差額} : 3,000\text{千円} - 2,800\text{千円} = 200\text{千円}$$

$$\text{繰延税金負債} : 200\text{千円} \times 40\% = 80\text{千円}$$

$$\text{その他有価証券評価差額金} : 200\text{千円} - 80\text{千円} = 120\text{千円}$$

(5) E社株式(関連会社株式)

(借方) 関連会社株式	1,500	(貸方) 有価証券	1,500
(借方) 関連会社株式評価損	900	(貸方) 関連会社株式	900
(借方) 繰延税金資産	360	(貸方) 法人税等調整額	360

評価差額：2,400千円×25%－1,500千円＝△900千円

繰延税金資産：900千円×40%＝360千円

3. 有形固定資産

(1) 備品の決算整理前残高試算表の金額

① 備品A₁グループ：20,000千円－20,000千円× $\frac{2\text{年}}{5\text{年}}$ ＝12,000千円

② 備品A₂グループ：27,478千円－10,992千円＝16,486千円

※ 取得原価：6,000千円×4.5797≒27,478千円<29,000千円 ∴27,478千円

減価償却費：27,478千円÷5年≒5,496千円 ∴5,496千円×2年＝10,992千円

③ 備品B：2,000千円－2,000千円× $\frac{2\text{年}}{5\text{年}}$ ＝1,200千円

④ 備品C：4,000千円

⑤ 試算表の金額

イの金額：12,000千円(備品A₁グループ)＋1,200千円(備品B)＋4,000千円(備品C)＝17,200千円

ウの金額：16,486千円(備品A₂グループ)

(2) 備品(備品C除く)の減価償却費

① 備品A₁グループ：20,000千円÷5年＝4,000千円

② 備品A₂グループ：27,478千円÷5年≒5,496千円：

③ 備品B：2,000千円÷5年＝400千円

(3) 減損損失

(借方) 減損損失	7,190	(貸方) 備品(A ₁ グループ)	4,000
		(貸方) 備品(A ₂ グループ)	2,990
		(貸方) 備品(B)	200
(借方) 繰延税金資産	2,876	(貸方) 法人税等調整額	2,876

I 資産グループごとの減損の兆候の把握および減損損失の認識と測定(減損の兆候あり)

	期首 帳簿価額	当期 減価償却費	期末簿価	割引前 キャッシュ・フロー	回収可能 価額	減損損失	減損処理後 帳簿価額
備品A ₁ グループ	12,000	4,000	8,000	5,000	4,000	4,000	4,000
備品A ₂ グループ	16,486	5,496	10,990	10,000	8,000	2,990	8,000

II 共用資産を含むより大きな単位での減損の兆候の把握および減損損失の認識と測定

	帳簿価額	割引前 キャッシュ・フロー	回収可能 価額	減損損失	減損処理後 帳簿価額
大きな単位(*)	19,790	15,700	12,600	7,190	12,600

* 8,000千円＋10,990千円＋(1,200千円－400千円)＝19,790千円

III 共用資産の負担額

7,190千円－(4,000千円＋2,990千円)＝200千円

繰延税金資産：7,190千円×40%＝2,876千円

(4) リース債務

返済日	期首元本	リース料	利息分	元本	期末元本
X1年度末	27,478	6,000	824	5,176	22,302
X2年度末	22,302	6,000	669	5,331	16,971
X3年度末	16,971	6,000	509	5,491	11,480

エ

(5) 備品C

① 資産除去債務の計上

(借方) 備 品 (C) 874 (貸方) 資 産 除 去 債 務 874
資産除去債務：955千円 ÷ (1 + 0.03)³ ≒ 874千円

② 決算整理仕訳

(借方) 減 価 償 却 費 1,625 (貸方) 備 品 (C) 1,625
(借方) 利 息 費 用 26 (貸方) 資 産 除 去 債 務 26

減価償却費：(4,000千円 + 874千円) ÷ 3年 ≒ 1,625千円※

利息費用：874千円 × 3% = 26千円

※ 別解

4,000千円 ÷ 3年 ≒ 1,333千円

874千円 ÷ 3年 ≒ 291千円

合計 1,624千円

(6) 建物

(借方) 減 価 償 却 費 14,400 (貸方) 建 物 14,400
減価償却費：72,000千円 × 0.2 = 14,400千円

4. スtock・オプション

(借方) 株 式 報 酬 費 用 8,500 (貸方) 新 株 予 約 権 8,500

株式報酬費用：20千円 × (1,000個 - 150個) × $\frac{21\text{ヵ月}}{24\text{ヵ月}}$ - 6,375千円 = 8,500千円

※20千円 × (1,000個 - 150個) × $\frac{9\text{ヵ月}}{24\text{ヵ月}}$ = 6,375千円

5. 社債

(借方) 社 債 利 息 1,505 (貸方) 現 金 預 金 900
(貸方) 社 債 605

	実効利息	約定利息	償却額	帳簿価額
X2年4月 1日	—	—	—	26,790
X3年3月31日	1,473	900	573	27,363
X4年3月31日	1,505	900	605	27,968

才

6. 法人税等

(借方) 法 人 税 等 3,500 (貸方) 未 払 法 人 税 等 3,500

7. 税効果

(借方) 法 人 税 等 調 整 額 360 (貸方) 繰 延 税 金 資 産 360

法人税等調整額

T / B	300	T / B	250
7.	360	2. (5)	360
残高	2,826	3. (3)	2,876

会計学 解説

第1問

模範解答参照

第2問

設問1

会社法上の剰余金の額：9,800千円(その他資本剰余金) + 9,500千円(任意積立金)
+ 22,600千円(繰越利益剰余金) = 41,900千円

設問2

分配可能額：41,900千円 - 1,500千円(その他有価証券評価差額金) - 2,400千円(自己株式) = 38,000千円

設問3

のれん等調整額：72,000千円 ÷ 2 + 11,000千円 = 47,000千円

のれん等調整額の資本金等超過額：

① 47,000千円 - (39,000千円 + 1,900千円 + 3,800千円) = 2,300千円

② 2,300千円 < 9,800千円(その他資本剰余金)

∴ 2,300千円

分配可能額：41,900千円 - 1,500千円(その他有価証券評価差額金) - 2,400千円(自己株式) = 35,700千円

第3問

I 営業活動によるキャッシュ・フロー

(1) 営業収入

売掛金			受取手数料		
期首	110,000	営業収入 833,000	期首	2,800	営業収入 29,800
売上高 (P/L)	870,000		受取手数料 (P/L)	29,200	
		貸倒 200			
		期末 146,800			期末 2,200

(2) 商品の仕入による支出

買掛金			商品		
仕入支出 561,000	期首 65,200	599,000 ←	期首 35,000	売上原価 (P/L) 611,000	
期末 103,200			599,000	期末 23,000	

(3) 人件費の支出

賃金		
賃金支出 125,000	期首 3,500	賃金(P/L) 126,000
期末 4,500		

(4) その他の営業費支出

83,550千円 - 8,250千円※ = 75,300千円

※ 減価償却費：37,250千円 - 29,000千円 = 8,250千円

(5) 配当金の受取額

受取配当金		
期首 300	収入 2,300	受取配当金(P/L) 2,500
受取配当金 (P/L) 2,500	期末 500	

(6) 利息の支払額

支払利息			
支出	2,200	期首	400
		支払利息	2,000
期末	200	(P/L)	

(7) 法人税等の支払額

未払法人税等			
支出	25,800	期首	25,800
		法人税等	34,800
期末	34,800	(P/L)	

II 投資活動によるキャッシュ・フロー

(1) 有価証券の取得による支出

投資有価証券：53,000千円－40,000千円＝13,000千円

(2) 有形固定資産の取得による支出

備品：31,000千円－25,000千円＝6,000千円

III 財務活動によるキャッシュ・フロー

(1) 短期借入れによる収入

短期借入金：27,000千円－23,000千円＝4,000千円

(2) 配当金支払い

P社の配当金：34,500千円

(3) 非支配株主への配当金支払額

S社の配当金：4,000千円×20%＝800千円

工業簿記・原価計算 解答・解説

<工業簿記> (単位：千円)

問1 材料消費価格差異

材 料			材 料		
期首	500	消費(予定)	期首	500	消費(実際)
仕入		9,700	仕入		9,880
10,000			10,000	減耗	10 @10× (62 kg - 61 kg)
	期末	800		期末	610 @10×61 kg
予定 9,700 - 実際 9,880 = (－) 180 借方差異					

問2 賃率差異

賃金・給料 (予定)		賃金・給料 (実際)	
	直労 6,050 間労 2,000		直労 6,050 間労 2,000
貸方残 210		未払 260	借方残 50 (－) 50 借方差異

問3 製造原価報告書

経費 8,300

経 費

実際 8,300	配賦 8,400
貸方残 100	

製造間接費 10,400 - 間接労務費 2,000 = 8,400

製造間接費配賦差異：100 (上記経費勘定より)

当期総製造費用：材料費 9,700 + 労務費 8,050 + 経費 8,400 = 26,150

期首仕掛品棚卸高：2,260 (仕掛品勘定より)

期末仕掛品棚卸高：1,005 (仕掛品勘定より 2,260 + 9,700 + 8,050 + 10,400 - 27,405)

問4 製品単位原価

残高試算表の工場の製品勘定 1,560 ÷ 期末棚卸高 6 個 = @260

問5 工場の損益

売上高 28,560 - 売上原価 26,520 + 棚卸減耗引当金戻入 20 (30 - 10) + 製造間接費配賦差異 100 - 材料消費価格差異 180 - 賃率差異 50 = 1,930

問6 本社の販売費および一般管理費

販売費 2,300 + 一般管理費 3,810 + 減価償却費 400 + 貸倒引当金繰入 20 (3,000 × 2% - 40) + 未払販売費 200 - 前払一般管理費 100 = 6,630

問7 内部利益

(内部販売価格 @280 - 工場製品単位原価 @260) × 4 個 = 80

問8 税引前営業損益

本社：売上高 35,000 - 売上原価 28,000 (期首 560 + 仕入 28,560 - 期末 @280 × 4 個) + 内部利益戻入 (期首) 110 - 内部利益控除 (期末) 80 - 販管費 6,630 = 400

工場：問5 より 1,930

合計：本社 400 + 工場 1,930 = 2,330

<原価計算>

問1 年間撮影件数

$$(\textcircled{*}1.215X \text{ 万円} - \textcircled{*}2431.5 \text{ 万円}) \times \textcircled{*}35.0756 = 3,000 \text{ 万円}$$

これを解くと $X \div 842$

$$\textcircled{*}1 \quad @1.5 \text{ 万円} \times X \text{ 件} \times (1 - \text{法人税率 } 19\%) = 1.215X \text{ 万円}$$

$$\textcircled{*}2 \quad 3,000 \text{ 万円} \div 6 \text{ 年} \times \text{法人税率 } 19\% - 650 \text{ 万円} \times 0.81 = -431.5 \text{ 万円}$$

$$\textcircled{*}3 \quad 0.9524 + 0.9070 + 0.8638 + 0.8227 + 0.7835 + 0.7462 = 5.0756$$

問2 (1) 高性能のCTスキャン購入案の税引後ネット・キャッシュ・インフロー
×7年度末

$$\text{CIF: 単純} @17.5 \text{ 千円} \times 1,000 \text{ 件} \times (1 - \text{法人税率 } 19\%) = 14,175 \text{ 千円}$$

$$\text{造影} (@30 \text{ 千円} - 10 \text{ 千円}) \times 1,600 \text{ 件} \times (1 - \text{法人税率 } 19\%) = 25,920 \text{ 千円}$$

$$\text{減価償却費 } 150,000 \text{ 千円} \div 10 \text{ 年} \times \text{法人税率 } 19\% = 2,850 \text{ 千円}$$

$$\text{COF: 稼働費 } 20,000 \text{ 千円} \times (1 - \text{法人税率 } 19\%) = 16,200 \text{ 千円}$$

$$\text{以上より、} 14,175 \text{ 千円} + 25,920 \text{ 千円} + 2,850 \text{ 千円} - 16,200 \text{ 千円} = \mathbf{26,745 \text{ 千円}}$$

×8年度末

$$\text{CIF: 単純} @17.5 \text{ 千円} \times 1,000 \text{ 件} \times (1 - \text{法人税率 } 19\%) = 14,175 \text{ 千円}$$

$$\text{造影} (@30 \text{ 千円} - 10 \text{ 千円}) \times 1,600 \text{ 件} \times (1 - \text{法人税率 } 19\%) = 25,920 \text{ 千円}$$

$$\text{減価償却費 } 150,000 \text{ 千円} \div 10 \text{ 年} \times \text{法人税率 } 19\% = 2,850 \text{ 千円}$$

$$\text{COF: 稼働費 } 20,000 \text{ 千円} \times (1 - \text{法人税率 } 19\%) = 16,200 \text{ 千円}$$

$$\text{メンテナンス } 15,000 \text{ 千円} \times (1 - \text{法人税率 } 19\%) = 12,150 \text{ 千円}$$

$$\text{以上より、} 14,175 \text{ 千円} + 25,920 \text{ 千円} + 2,850 \text{ 千円} - 16,200 \text{ 千円} - 12,150 \text{ 千円} = \mathbf{14,595 \text{ 千円}}$$

除却年度末

$$\text{CIF: 単純} @17.5 \text{ 千円} \times 1,000 \text{ 件} \times (1 - \text{法人税率 } 19\%) = 14,175 \text{ 千円}$$

$$\text{造影} (@30 \text{ 千円} - 10 \text{ 千円}) \times 1,600 \text{ 件} \times (1 - \text{法人税率 } 19\%) = 25,920 \text{ 千円}$$

$$\text{減価償却費 } 150,000 \text{ 千円} \div 10 \text{ 年} \times \text{法人税率 } 19\% = 2,850 \text{ 千円}$$

$$\text{COF: 稼働費 } 20,000 \text{ 千円} \times (1 - \text{法人税率 } 19\%) = 16,200 \text{ 千円}$$

$$\text{除却費 } 10,000 \text{ 千円} \times (1 - \text{法人税率 } 19\%) = 8,100 \text{ 千円}$$

$$\text{以上より、} 14,175 \text{ 千円} + 25,920 \text{ 千円} + 2,850 \text{ 千円} - 16,200 \text{ 千円} - 8,100 \text{ 千円} = \mathbf{18,645 \text{ 千円}}$$

(2) 高性能のCTスキャン購入案の正味現在価値

$$26,745 \text{ 千円} \times (0.9524 + 0.8638 + 0.7835 + 0.7107 + 0.6446) + 14,595 \text{ 千円} \times (0.9070 + 0.8227 + 0.7462 + 0.6768) + 18,645 \text{ 千円} \times 0.6139 - 150,000 \text{ 千円} \div \mathbf{163,236 \text{ 千円}}$$

問3

①から⑤ 解答参照

⑥問2の(2) 13,236 千円と同額。単位を万円にすることに注意する。

$$\textcircled{7} \text{CIF: 撮影} @1.5 \text{ 万円} \times 1,500 \text{ 件} \times (1 - \text{法人税率 } 19\%) = 1,822.5 \text{ 万円}$$

$$\text{減価償却費 } 3,000 \text{ 万円} \div 6 \text{ 年} \times \text{法人税率 } 19\% = 95 \text{ 万円}$$

$$\text{COF: 稼働費 } 650 \text{ 万円} \times (1 - \text{法人税率 } 19\%) = 526.5 \text{ 万円}$$

$$\text{以上より、} 1,822.5 \text{ 万円} + 95 \text{ 万円} - 526.5 \text{ 万円} = 1,391 \text{ 万円}$$

$$\times 7 \text{ 年度 } 1,391 \text{ 万円} \div 0.6446 \div 2,157.92 \text{ 万円}$$

$$\times 8 \text{ 年度 } 1,391 \text{ 万円} \div 0.6768 \div 2,055.26 \text{ 万円}$$

$$\times 9 \text{ 年度 } 1,391 \text{ 万円} \div 0.7107 \div 1,957.22 \text{ 万円}$$

$$\times 10 \text{ 年度 } 1,391 \text{ 万円} \div 0.7462 \div 1,864.11 \text{ 万円}$$

$$\times 11 \text{ 年度 } 1,391 \text{ 万円} \div 0.7835 \div 1,775.36 \text{ 万円}$$

$$\times 12 \text{ 年度 } 1,391 \text{ 万円} \div 0.8227 \div 1,690.77 \text{ 万円}$$

$$\text{合計} \div 11,500.64 \text{ 万円}$$

$$11,500.64 \text{ 万円} \times 0.6139 - 3,000 \text{ 万円} \div \mathbf{4,060 \text{ 万円}}$$

⑧ 解答参照